

2025年10月31日

株式会社メイテックグループホールディングス

2026年3月期第2四半期 決算説明会 質疑応答概要

1.日時 2025年10月30日(木)16:00~16:30

2.場所 オンライン会議

3.質疑応答

質問 今期のキャリア採用は目標数値の下方修正、来年4月の新卒採用は目標比、前期比を下回っている状況の中、今後、今から大きく外部環境が変わらない中、採用数を増やしていくような手段等について、教えてください。

回答 チャレンジャー、フォロワーの立ち位置なので、具体的な手段はお答えしません。業績を伸ばすためには、エンジニア社員の増員と対価上昇の掛け合わせが必要ですが、実績を踏まえて、素直に目標数を下方修正としました。ただし、目標数にこだわらず、目標を超えて伸ばせるならば、伸ばします。紹介会社のメイテックネクストも紹介決定者数が目標比を下回り、転職市場はかなり弱含み、です。ですから、強気に申し上げたいところですが、現実是非常に厳しい状況にあります。

質問 今後、採用における外部環境が大きく変わるようなことはありますか？あるとしたら、どのようなことが要因になると考えますか。

回答 米国で起きはじめている雇用の下振れリスク、は気にしています。こうした影響が、日本に伝播するのか、は、わからないため、何とも言えません。ただし、繰り返しですが、成長意欲がある方には活躍する場が多くあるので、そういう方を積極的に採用するスタンスは不変です。

質問 AI等の影響で他社が採用しなくなった場合は、結果として御社にとって採用環境が良くなるという可能性はあると考えてよいでしょうか。

回答 コロナ禍で採用を止めなかったように、皆と同じ競争ではなく、違うところで、いかにパフォーマンスを発揮するか、という選択肢は持ちたいと考えています。

質問 来期は新しい中期経営計画がスタートすると思いますが、 β 値の低さなど御社ならではの特徴があり、必ずしも成長を求めるのが正しいとは言えない中、それでも成長性を高めていくために、何か考えているようなことがあれば教えてください。

- 回答 次の中期計画に関するコメントは控えます。
投資家の考えも二極化しています。利益配分を配当に寄せて、 β 値はかなり下がり、結果的にエクイティスプレッドが広がった、と認識しています。
海外の株主からは、成長性を強く追求して β 値が上がるような施策は止めてほしい、と言われることもあります。
ただし、株式市場に上場していますから、成長を強く求められることは必然です。
ですから、投資家と対話をしながら、変化するお客様の動向とエンジニアのマインドの変化を掛け合わせて、最適解を模索、試行錯誤を続けます。
- 質問 説明資料の 40 ページに記載されていますが、PE ファンドの関与や、業界再編に関する御社の考えについて、先ほどご説明いただいた他、実際にお話しいただける範囲で、水面下で業界再編などの動きが活発化している等の印象はありますか？
- 回答 肯定も否定もしないノーコメントです。
- 質問 では、業界再編等の動きが増えてきたら、人材業界や市場環境がどのように変化していくか、イメージを持っていれば、教えてください。
- 回答 業界全体が、需要過多で受注残高は高水準、一方で供給不足、なので、統合しても新たな需要の喚起は難しい、シナジー効果は見込みにくい、と思います。
また、統合で運営費用を大きく低減できる、とも思えません。
なので、より強い成長意欲があり志の合った集合体になった時に、まったく違う価値の創出が出来るだろう、と思っています。
- 質問 今の話を伺って、需要面でのシナジー効果が効かない場合、供給に関して、優秀なエンジニアを抱えている会社を買収する可能性がある、と考えていいですか？
- 回答 買収する可能性を否定した事は無いです。
逆に、株式市場に上場していますから、買収される可能性も理解しています。
売りも、買いも、どちらも否定しません。
ただし、どちらにしても、価値あるものでなければ意味は無いです。
- 質問 販管費が足元実績で減少している理由は？業務効率化等による販管費削減による減少であれば問題ないが、事業運営上の重要人材などの退職等の増加により人件費が減少しているのではないのでしょうか。
- 回答 説明した通り、採用の不調で、採用費用を費消していないためです。

以上